# 会議議事録(要旨)

1 会議名	令和 4 年度 第 2 回 長岡市地域公共交通協議会	
	令和4年8月24日(水曜日) 午前10時00分から	
1.371-7		
3 開催場所	アオーレ長岡東棟4階大会議室	
4 出席者名	若月会長、佐野副会長、中山(謙)委員、小川委員、田中委員、松木委員、	
	中川委員(代理:大石様)、山本委員、中山(精)委員、島谷委員、髙木委員、	
	小林委員	
	【欠席】吉田委員、髙橋委員、瀧澤委員、玉巻委員	
5 協議事項	(1) 長岡市地域公共交通計画策定について	
	・長岡市地域公共交通網形成計画の評価	
	・交通施策の課題整理	
	・長岡市地域公共交通計画の骨子(案)	
6 協議結果	・協議事項(1)について、地域公共交通計画の方向性を確認し、否	
の概要	定されなかった。	
7 審議の内容		
【その他】	委員の交代について	
事務局	・越後交通株式会社の塩入委員に代わり中山委員。	
【協議事項】	(1) 長岡市地域公共交通計画策定について	
E 1007 F472 4 7 7 2	・長岡市地域公共交通網形成計画の評価	
事務局	資料に基づき、協議事項(1)長岡市地域公共交通網形成計画の評価	
4-400 /PO	について説明。	
	(以下、質疑応答)	
委員	・ながおかバスiとはなにか。	
女只	, マハ-ゼハム, ン, I C Åマ, Y 《 C N - º	
事務局	・パソコンやスマートフォンから、利用するバス停名を入力すると ・	
<b>学</b> 伤问		
	バスの位置情報が把握できるシステムである。例えば、バスを待している。	
	っている際に時間通りにバスが来ず不安を感じている場合にお	
	いて、どこまでバスが来ているか把握できるため便利である。な	
	がおかバス i へのアクセス数も現計画策定時に比べて大幅に増	
	加しており、特にバスが遅れやすい悪天候時や冬場において利用	
	者が逐次運行状況を確認することから増加していると考えられ	
	る。	

#### 会長

・私自身もながおかバス i を利用しており、家を出る時間帯を決めるうえで大変便利なツールである。

#### 副会長

- ・3ページの基幹路線の検討について、具体的にどのくらい運行回 数等を見直したのか。
- ・4ページのオープンデータについて、グーグルマップに反映され たのが山古志・太田地区のみとなったのはなぜか。
- ・6ページの評価指標の実績値について、目標値は令和3年度となっているため、実績値も令和3年度で算出したほうがよいと思うが、なぜ令和2年度なのか。
- ・10ページについて、高齢者を一括りとみていいのか疑問で、高齢者の平均年齢が同じであれば問題ないが、平均年齢が少し上がっているような状況であればそれらを示す資料があったほうがよいと思う。

#### 事務局

・3ページの基幹路線の見直し回数について、具体的な回数は把握していないが、毎年度交通事業者や NPO 法人と協議をするなかで、運行内容や需要を把握し、可能な範囲で運行時間や運行回数の見直しを実施している。

#### 副会長

・見直しでよくあるのが運行本数を減らすことだが、ここでの内容 はサービスレベルの向上となっており、本数を減らして需要に合 わせるような見直しはあてはまらないのではないか。

#### 事務局

- ・全体の見直しをするなかで、運行本数が減る部分もあるが、ここでのサービスレベルの向上は、コミュニティバスと路線バスとの接続をよくするといったような前向きな見直し内容であり、事業者と協議しながら実施をしている。
- ・4ページのグーグルマップへの反映が山古志・太田地区のみになっている理由について、昨年度新潟県主導で試験的に1路線作成してみないかと話があり、我々で作業を進めたが、慣れないため、山古志・太田地区のみとなった。今年度以降、川口、小国についても反映できるように作業を進めていく予定としている。

#### 副会長

グーグル用にデータを作成しないといけないのか。

# 事務局

- ・その通りである。グーグルと契約してやり取りする中でかなり時間がかかり、作業に慣れないため1か所にとどまっている。
- ・6ページの令和3年度の実績値について、元になっているデータ

が長岡市統計年鑑であり、最新データが公開されていないため令 和2年度となっている。

・10 ページの高齢者の一括りについて、ご指摘の通りである。今回 の評価にあたり年代別の分析までは行っていないが、その視点も 重要であるため、分析を実施したいと考えている。

#### 副会長

・ 高校生の満足度が非常に高くなっているが、高校生に対して行った具体的な施策はなにか。

#### 事務局

・高校生向けの特別な施策を実施したわけではないが、通学時間帯に合わせて運行しているため、サービスの低下はないと考えている。今回アンケート調査を高校2年生全体で行ったこともあり、比較的バスを利用する人にとってはサービスは低下していないという結果だと考えられる。また、学校の協力で一斉配布を行い、不満もない人が満足と回答した人が一定数いることも考えられる。そのため、この差はアンケート調査対象の見直しによるものが大きいと考えている。

#### 委員

・休日割引パスについて、高齢者の視点で考えると、休日はあまり 出かけない。そのため、平日にも対応した割引パスがあるとよい と思う。

# 【協議事項】

- (1) 長岡市地域公共交通計画策定について
  - ・ 交通施策の課題整理

#### 事務局

資料に基づき、協議事項(1)交通施策の課題整理について説明。 (以下、質疑応答)

#### 副会長

・課題の中に対策に関する内容も入っているので、課題と対策を分けた書き方のほうがよいのではないか。

#### 事務局

・おっしゃる通りで課題とその対応まで表現しているので記述を 考慮したいと思う。

#### 【協議事項】

- (1) 長岡市地域公共交通計画策定について
  - ・長岡市地域公共交通計画の骨子(案)

#### 事務局

資料に基づき、協議事項(1)長岡市地域公共交通計画の骨子(案) について説明。

# (以下、質疑応答)

# 委員

・表記の仕方について、協議会では「安心・安全」と表現している が、他部署の引用を見ると、「安全・安心」となっているため、 統一した方がいいのではないか。

#### 事務局

・今後具体的な計画を取りまとめるなかで、ご指摘の点を踏まえて 記述していきたい。

#### 委員

・現在の高齢者の動きについて、新型コロナウイルスが拡大して3年目となるが、その間、さまざまな規制があったことで会合への出席や外出時の公共交通機関の利用が減少するなど、動きが止まっている。ワクチン接種等を済ませ、長岡市でもできる限り活発に動くようにと話が出ており、これまで1日で行っていた行事を半日にするなど時間を短くするとともに、飲食も極力抑える形で例年行事を実施しようと進めているところである。

#### 会長

・BA. 5 対策宣言が発出されている中で、高齢者にとってはかなり制限がある。一方で家に閉じこもることも大変なことであるため、長岡市も高齢者に外出の機会があったほうがいいと考えており、福祉部門ではさまざまな取り組みを行っている。公共交通分野においても、コロナ禍でも公共交通を利用してもらえる施策が必要であると考えている。

# 委員

・目標②の内容について、過度な補助金とはどのくらいの金額をイメージしているのか。

#### 事務局

・過度と言える明確なラインは決めていないが、新型コロナウイルスの影響により事業者の収益が落ちていることもあり、補助額が現状から上がる要素も十分にあると考えている。その状況下において、必要な経費を抑えていくことは考えていない。新たなデマンド交通サービスの展開も必要となった場合は予算を確保していくよう努力したいと考えている。ただ、市民の皆さんの不便にならないようしっかり取り組んでいきたい。

# 会長

・委員のおっしゃることも理解できるので、表現を考えたほうがよいと思う。

#### 事務局

・表現については検討したい。

### 委員

- ・県内のタクシー業界でも陽性者が見られ、そこに関わる家族や職場、濃厚接触者を踏まえると、さらに多くの人が関わることになるが、BA.5に対して危機感が薄れてきているように感じる。新型コロナウイルスによって経済が壊れ、ホテル関係、外食関係、運送関係はかなりダメージを受けている。この状況下で、公共交通網の骨組みは示された通りだと考えている。公共交通というと大量輸送を担う鉄道会社やバス会社が全面に出てくるが、タクシーも公共交通の一員である。デマンド交通という括りでは公共性が強いため、寺泊地域や栃尾地域などで活躍しているが、これは補助金があってこそ運行できているものである。赤字であれば受益者負担と補助金を入れないと維持できない状況なので、このようなスタイルが今後も続くのではないかと考えている。
- ・公共交通の道路環境整備についても必要であると感じている。止まれの道路標示が薄くなり見にくい箇所があり、交通事故のもとになる可能性が考えられるため、こういった交通環境も整えていく必要があると思う。

#### 委員

- ・直近の新型コロナウイルス第7波の影響から、特に観光バス部門では依然厳しい状態となっている。直近のデータでは、路線バスはコロナ前の令和元年比で約80%まで回復したが、県内高速バスは約65%と厳しい状況である。また、10月1日には運賃の改正を実施することとなった。新聞等の報道や当社ホームページ等で周知されているが、ご利用の方々にはご迷惑をおかけしお詫び申し上げる。また、収支改善にご理解いただきたい。
- ・委員から話があった高齢者に対する割引について、周知が足りていないと感じるとともに、平日の昼間に高齢者が動く可能性が高いと考えている。通常の回数券よりも枚数を多くつけて割引率を上げた買い物回数券があり、こちらを利用してもらいたいと思う。また、高齢者が利用できる1か月間乗り放題の漫遊パスポートもあり、PR をして利用しやすいバスにつなげていきたいと考えている。
- ・長岡市におかれては、バス事業者に対する補助制度、燃料高騰に 対する公共交通等事業継続支援金等の支援について、改めて感謝 申し上げる。
- ・環境に配慮した電気バスの導入について、長岡市からの支援を受け、来年3月に運行を開始する予定である。これについては、長岡市のみならず国土交通省からも大きな支援を頂いてることに感謝申し上げる。運行については、来年3月以降に長岡市循環バスくるりんで使用する予定である。

副会長

・35、36ページの4番目に「守る公共交通」とあるが、表現が分かりにくい。例えば持続可能でもよいのではないかと思う。

事務局

・先ほどのご指摘も含めて記述は検討していきたい。

委員

・長岡地域振興局では、地域の魅力を発信する取り組みを行っており、バスを使って旅をしませんかという提案を行っている。その中で長岡市内の路線は長岡駅から各方面に行けるため、車を使わない旅がしやすいエリアだと感じている。先ほど話題になったグーグルマップには経路検索機能が備わっており、長岡市ではコミュニティバスで試験的に行い、課題等が見えてきた中で今後はバス会社の協力が欠かせないと思う。スマホで経路検索ができることは不可欠だと思っており、それができると旅行者に動機づけられるのではないかと思う。スマホの便利な機能があるということを理解したうえで検討を進めていくとよいと思う。

事務局

・新しい計画の中で、利便性の向上や分かりやすさも重要となって くるため、バス会社等を含めて協議させていただきたいと考えて いる。

会長

・いただいた意見は計画に反映していくとともに、今後気付いた点 があれば事務局まで伝えていただきたい。

副会長

・公共交通は英語でパブリックトランスポーテーションであり、日本語だと公共という言葉からみんなのためという意味があるが、パブリックというと、誰でも使える、つまり特定の人だけではないという意味もある。タクシーは位置づけが難しい面もあるが、人口も減少しており、大量輸送から少量の輸送が活躍する場もあると思うので、タクシーや自家用有償運送など少量輸送も公共交通として位置づけたほうがよいと思う。

【その他】

新型コロナウイルスワクチン接種高齢者移動支援事業について

事務局

・高齢者がワクチン接種に行く際の移動支援として、タクシー割引 券の配布を協議会の事業として行っており、4回目の接種券配布 の際に500円の割引券を2枚付け、対象者に郵送している。5回

	目接種が早ければ 10 月頃から接種が始まる話も出ており、引き 続き 5 回目接種でも実施していきたいと考えている。結果につい ては協議会で報告したいと考えている。
【その他】	今後のスケジュールについて
事務局	・次回以降の協議会について、3回目を10月に、4回目を11月に予定している。具体的な日程については改めて連絡する。

# ■協議会の様子







